

九州・沖縄地区の「小売業」倒産動向調査(2024 年度)

小売業の倒産が 2000 年度以降で過去最多更新

『中古車小売業』は前年度比 180.0pt 増

九州・沖縄地区の小売業の倒産は 2024 年度に 194 件発生。2000 年度以降で最も多かった 2023 年度 (174 件) を上回り、過去最多を更新した。負債総額は 158 億 8400 万円となり、2000 年度以降で 9 番目に低い水準となった。

業種別では、『酒場、ビヤホール』の 15 件(前年度 29 件、前年度比 48.3pt 減)が最多、『中古自動車小売業』14 件(同 5 件、同 180.0pt 増)『婦人服・子供服小売業』11 件(同 11 件、前年度と同数)『中華料理店、その他東洋料理店』10 件(同 14 件、同 28.6pt 減)が 2 桁で続いた。なかでも、『中古自動車小売業』の増加が際立った。

背景にはコロナ禍の休業や営業時間短縮により業績が悪化していたことに加え、ゼロゼロ融資などの返済負担、さらには、同業他社との競合、光熱費、人件費の上昇なども、資金繰りを圧迫している。引き続き、食料品をはじめ商品価格、人件費などは上昇が見込まれることもあり、小売業の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。



株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当:丸山 翔大

TEL:092-738-7779 FAX:092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。